第２次高砂市文化振興基本方針（素案）に対する
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

１　提出された意見の概要とそれに対する考え方

整理番号	意見の概要	市の考え方
1	（１）限られた予算内で方針を実行するにあたり、まずは行政の主導がなければなにも変わらない。文化を牽引する人材育成や事例研究に投資するとともに、他市町や大学等との連携も視野に、行政が具体的方針を示していくべきである。	第１次方針の結果を受け、次期方針において特に取り組むべき５点の課題を整理しました。 基本目標２施策２では人材育成について、同施策３ではつながりの充実についてそれぞれ重点的に取り組むこととしており、それら全般において行政は協働、支援、環境整備等多面的に方針を推進してまいります。
	（２）団体や個人の交流こそが地域文化向上の基本であるが、市内施設にはそれにふさわしい場がないことが最大の課題である。文化施設整備は行政にしかできない大事業であるとともに、一度建設すると数十年は建て替えることがなく、文化会館改築の際には「交流の場」の観点に重点をおくべきである。	貴見のとおり、文化会館の建て替えに際しては、十分な調査と将来を見据えた計画が必要であると考えます。 本方針の推進とともに、施設のあり方についても検討してまいります。
	（３）昨今は地方都市でも、諸施設の老朽化や天災被害をも乗り越え、街並みが整備されている。高砂市もそのようなまちづくりに注力する自治体であってほしい。	市政に対するご意見として承ります。
	（４）高砂市には中心地がなく、文化施設を含む主要施設が分散している。じょうとんバスの市内循環系統の創設により、交通弱者の活動の一助とすることはできないか。	市政に対するご意見として承ります。
2	若年層の文化の担い手がおらず、伝統文化を継承できない。若年層（特に小中学生、高校生）のクラブ活動に伝統芸能を取り入れることや、企業との連携を検討されたい。	基本目標１施策３において、子ども、若者世代が文化芸術に触れる機会の充実を掲げているほか、文化の担い手（市民、団体、教育機関、事業者）間の連携及び協働を本方針の推進体系として掲げております。 適切な推進体制のもと、各施策を実施してまいりたいと考えております。

3	第１次方針を受け、理念の浸透から実践へと発展している。市の魅力をいかに周知し、方針理念を実現していくかが楽しみである。施策に一案として、「高砂検定」の実現を期待する。	第１次方針の結果を受け、本方針に示す施策を着実に推進することで、文化振興、継承に取り組んでまいります。 引き続き本市文化行政にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。 また「高砂検定」につきましては、今後具体的施策を検討する中で参考とさせていただきます。
4	保育料の無料化もしくは児童手当の増額を検討してほしい。	市政に対するご意見として承ります。
5	（１）「高砂学」講師として、講座の継続、回数増、宮本武蔵についての勉強会の実施等を希望する。	市民が広く気軽に文化に触れる機会として、また、担い手の育成の一助として、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。
	（２）情報発信の強化と活動の場の確保、他分野（歴史、観光等）との連携が重要である。	基本目標２施策１及び３において活動する個人や団体の活動推進と、文化の担い手同士の連携促進を、また基本目標４では情報発信の強化のための施策に積極的に取り組むこととしており、これらの実現に向けた施策を検討してまいります。
6	（文章の修正） ５０頁【文化芸術の鑑賞と活動】 １５行目 「鑑賞した文化芸術はない」との回答者で、<u>日常生活で</u>芸術を鑑賞することを	ご指摘ありがとうございます。 適切な表現に改めます。

２　意見提出数

提出方法	人　数	件　数
電　子　申　請	3	6
郵　　送	1	1
F　A　X	1	2
メ　ー　ル	1	1
計	6	１０